



選手全員が心を一つにして

## 手に汗握る勝負の数々

### 青少年交流綱引き大会

市内の小学校から86チーム約1,400人が参加して「青少年交流綱引き大会」が2月15日、市体育館で開催されました。選手たちは、保護者やクラスメートの声援を受け、全員で大きな声を出しながら力強く綱を引きました。引きつりかかれつのに汗握る勝負の数々に、会場は歓声に包まれました。主な結果は次の通りです。

- 優勝…公津ビクトリー
- 準優勝…向台サルビー
- 第3位…公津の杜BLAZE



観客席からの声援

## 食べごろは1年待って

### 味噌づくり講習会

市民にみその仕込みの工程の一部を体験してもらう「味噌づくり講習会」が2月13日、一坪田にある農産物加工施設で行われました。参加者はゆでた大豆に塩を混ぜたこうじを加え、機械ですりつぶすと、容器に詰めて家に持ち帰りました。仕込んだみそはこのまま寝かせ、半年後に容器の中のみその上下を入れ替える「天地返し」をしたら再び寝かせて、食べごろは1年後。参加者は保管場所などについてのアドバイスに熱心に耳を傾けていました。



ゆでた大豆とこうじを機械ですりつぶす



飾り付けはビーズで

## 保冷剤がおしゃれに変身

### バレンタインアロマをつくろう

消臭効果がある保冷剤の中身を使って、部屋に飾って楽しめる小物を手作りする「バレンタインアロマをつくろう」が2月14日、子ども館で行われました。参加者17組22人は、ゼリー状の保冷剤の中身にアロマオイルを垂らし、絵の具を混ぜて色を付けると、造花やビーズなどで飾り付けしました。贈り物にもできるように、牛乳パックで作った箱に入れて、リボンを結ぶと出来上がり。参加者の1人は「かわいいので、このまま自分の部屋に飾りたい」と話していました。



景品に花苗を受け取る参加者

## 豆知識をスタンプラリーで

### 消費生活展

生活に役立つ情報を知ってもらおうと「消費生活展」が2月21日・22日、ユアエルム成田店で行われました。市や企業、NPOなど17の団体がブースを出展し、各ブースで出題されるクイズに答えて会場を回るスタンプラリーを開催。参加者は各ブースでクイズの解説を聞いて知識を得た後、景品の花苗を受け取りました。ほかにも、うなりくんとの写真撮影や風船のプレゼントなど子どもが楽しめるイベントがあり、会場は多くの家族連れでにぎわいました。

## 身近な材料でひな飾り

### キャンディアレンジでつくろう

桃の節句を前に身近にある物を使ってひな飾りを作る「キャンディアレンジでつくろう」が2月22日、子ども館で開催されました。緑・白・桃色の紙粘土を重ねてひし餅に見立て土台にし、そこへ男びなと女びなの顔を書いた木のスプーン、ワイヤーを巻いたキャンディーやモールなどを思い思いに挿していきました。七段飾りのひな人形が飾られた会場には、童謡「うれしいひなまつり」が流れ、子どもたちは口ずさみながらオリジナルのひな飾りを完成させました。



紙粘土をガラス瓶に丁寧<sup>ていねい</sup>に詰めて



完成したひな飾り



箏曲<sup>そう</sup>の演奏会場を囲む多くの聴衆(2月21日)



野<sup>の</sup>だてで会場で順番を待つ人の長い行列

# 甘い香りにたくさんの人出

## 成田の梅まつり

成田山新勝寺大本堂の奥に広がる成田山公園には、約500本の紅梅や白梅が植えられています。梅の花の見ごろに合わせて2月21日～3月8日に「成田の梅まつり」が行われました。期間中の土・日曜日にはさまざまなイベ

ントが開かれました。伝統音楽の演奏会や野だてのほか甘酒の無料配布など風流な催しが行われ、梅のふくよかな匂いに包まれた園内は、訪れた参詣客や観梅客など多くの人々でにぎわいました。